

平成28年度行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	警察庁における緊急残業時等の一時託児を可能とする環境整備			担当部局庁	長官官房		作成責任者		
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	給与厚生課		給与厚生課長 坂口 拓也		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-				
主要政策・施策	男女共同参画			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	都道府県警察の活動等に応じて急な残業等が発生せざるを得ない警察庁において、事業主たる警察庁として、職員が働き続けやすい職場づくりを推進するとともに、職員の事案即応性の向上を図るため、急な残業時等に職員が一時的に子供を託すことを可能とする環境を整備する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	警察庁において、育児中の職員が急な残業等が必要となったときに、当該職員が子供を一時的に託すシッターの緊急派遣を外部委託する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	0	0			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	0	0	4	4	3		
	執行額	-	-	4					
	執行率 (%)	-	-	100%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 28年度	目標最終年度 年度
	職場環境の整備	事前利用登録をした職員 の所属数	成果実績	所属数	-	-	17		
			目標値	所属数	-	-	34	34	
			達成度	%	-	-	50		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	シッターの緊急派遣外部委託の整備数	活動実績	整備数	-	-	1	1		
		当初見込み	整備数	-	-	1	1		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	執行額/整備数	単位当たり コスト	万円	-	-	350	330		
		計算式	執行額 /整備数	-	-	350万円/1	330万円/1		
平成28・29年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目 業務委託費	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
		4	3						
	計	4	3						

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、都道府県警察の活動等に応じて急な残業等が発生せざるを得ない警察庁において、事業主たる警察庁として、職員が働き続けやすい職場づくりを推進するとともに、職員の事案即応性の向上を図るものであり、国民や社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、都道府県警察の活動等に応じて急な残業等が発生せざるを得ない警察庁において、事業主たる警察庁として、職員が働き続けやすい職場づくりを推進するとともに、職員の事案即応性の向上を図るものであるため、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、都道府県警察の活動等に応じて急な残業等が発生せざるを得ない警察庁において、事業主たる警察庁として、職員が働き続けやすい職場づくりを推進するとともに、職員の事案即応性の向上を図るものであり、必要かつ適切な、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	本事業は、応募は一者しかなかったものの、企画競争として警察庁HPIに広く公募し複数の業者から資料の請求を受けるなどして、競争性が確保されていることから支出先の選定は妥当である。
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果		<ol style="list-style-type: none"> 過去の事業仕分け等の結果、横断的な見直し基準等の反映状況 事業の必要性等を検証し、単価等の検討を行った上で予算の積算を行っている。 事業の成果目標及び活動指標の設定状況及び事業効果等の検討状況 適切な成果目標及び活動指標を設定しており、事業効果も高いものと認められる。 国民のニーズへの対応状況 警察庁において職員が働き続けやすい職場づくりを推進することは、警察の人的基盤の充実強化に繋がり、また、警察庁職員の事案即応性の向上を図ることは、国民の生命・身体の安全確保に資するものである。 警察庁が行う業務としての妥当性 都道府県警察の活動等に応じて急な残業等が発生せざるを得ない警察庁において、職員が働き続けやすい職場づくりを推進するとともに、職員の事案即応性の向上を図る本事業は、事業主たる警察庁が行うべきである。
	改善の方向性		・事業実施に当たっては、仕様や単価の見直しを行い、適正な支出先の確保に努める。

外部有識者の所見

今後も、実効性を評価しつつ、執行における競争性・透明性の向上を図ること。

行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り

引き続き、適正かつ効率的な事業実施につとめること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

縮減

平成29年度予算の概算要求に際し、実績単価を反映し要求額の縮減を図った(縮減額:0.2百万円)

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-		
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	新27-0004		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

警察庁
4百万円

警察庁における緊急残業時等の一時託児
を可能とする環境整備に要する予算を支出



【随意契約(企画競争)】

A. 民間会社
4百万円

受託したシッター緊急派遣事業
を実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.(株)ポピンズ			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	業務委託費	緊急残業時等の一時託児委託	4			
	計		4	計		0
	C.			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)ポピンズ	5011001011146	緊急残業時等の一時託児委託	4	随意契約 (企画競争)	1	-	
2								
3								
4								
5								

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載 チェック